

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【公開番号】特開2016-36372(P2016-36372A)

【公開日】平成28年3月22日(2016.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-017

【出願番号】特願2014-159705(P2014-159705)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月17日(2016.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
未だ開始されていない可変表示について、保留記憶として記憶する保留記憶手段と、
前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶の各々に対応して保留表示を表示させる保留表示制御手段と、

前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段と、
前記決定手段による決定結果にもとづいて、可変表示を実行する可変表示実行手段と、
前記決定手段の決定前に、前記有利状態に制御されるか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段による判定結果にもとづいて、判定の対象となった保留記憶に対応する保留表示を通常態様とは異なる表示態様に変化させて表示することにより前記有利状態に制御される可能性を予告する予告演出を実行する予告演出実行手段と、
保留表示の表示態様が変化することを示唆する示唆演出を実行する示唆演出実行手段とを備え、

前記保留表示制御手段は、

少なくとも、保留表示の表示に伴う特定演出を実行し、所定の状態における保留表示として、所定の周期により動作表示する特定保留表示を表示させることができあり、

特定保留表示の表示中に新たな特定保留表示を表示させるときに、前記特定演出の実行後に、表示中の特定保留表示の動作表示と前記新たな特定保留表示の動作表示とを同期させ、

前記予告演出実行手段は、表示されている保留表示のうちのいずれの保留表示の表示態様を変化させるかによって前記有利状態に制御される可能性を異なる期待度により予告可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、可変表示を行ひ、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能なパチンコ遊技機等の遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(手段1) 本発明による遊技機は、可変表示を行ひ、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機であって、未だ開始されていない可変表示について、保留記憶として記憶する保留記憶手段（例えば、第1保留記憶バッファ、第2保留記憶バッファ）と、保留記憶手段に記憶されている保留記憶の各々に対応して保留表示を表示させる保留表示制御手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS800Aを実行する部分）と、有利状態に制御するか否かを決定する決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS61を実行する部分）と、決定手段による決定結果にもとづいて、可変表示を実行する可変表示実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS1813, S8105を実行する部分）と、決定手段の決定前に、有利状態に制御されるか否かを判定する判定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS1217A, S1217Bを実行する部分）と、判定手段による判定結果にもとづいて、判定の対象となった保留記憶に対応する保留表示を通常態様とは異なる表示態様（例えば、特殊態様や第1特別態様、第2特別態様）に変化させて表示することにより有利状態に制御される可能性を予告する予告演出（例えば、先読み演出）を実行する予告演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100が先読み演出決定処理（ステップS800F）の決定結果にもとづいて、ステップS1813, S1845を実行する部分）と、保留表示の表示態様が変化することを示唆する示唆演出を実行する示唆演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100が先読み演出決定処理（ステップS800F, S67110）の決定結果にもとづいて、ステップS1813, S1845を実行する部分）とを備え、保留表示制御手段は、少なくとも、保留表示の表示に伴う特定演出（例えば、出現演出）を実行し、所定の状態（例えば、時短状態（低確率／高ベース状態））における保留表示として、所定の周期（例えば、1秒）により動作表示する特定保留表示（例えば、図59に示す特定保留表示）を表示させることができあり、特定保留表示の表示中に新たな特定保留表示を表示させるとときに、特定演出の実行後に、表示中の特定保留表示の動作表示と新たな特定保留表示の動作表示とを同期させ（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS6039～S6053, S6059～S6066を実行する部分）、予告演出実行手段は、保留表示手段によって表示されている保留表示のうちのいずれの保留表示の表示態様を変化させるか（例えば、いずれのシフトタイミングで保留表示を変化させて表示するか）によって有利状態に制御される可能性を異なる期待度により予告可能である（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100が、最終表示態様と先読み演出パターンとともにとづいて、変化タイミングを決定する先読み演出決定処理（ステップS800F, S67108）を実行する部分と、先読み演出決定処理の決定結果にもとづいて、ステップS1813, S1845を実行する部分。図48～図51参照）ことを特徴とする。そのような構成によれば、特定保留表示の動作表示を同期させるので、特定保留表示を表示可能に構成した場合に保留表示の見栄えを確保することができる。